

そよかぜ

SOYOKAZE

自分らしくいきいきと

「女性活躍」・・・最近よく見聞きする言葉です。
 実際に、家庭・職場・社会などいたるところで、女性は重要な役割を果たしています。以前は男性の仕事と思われていた職場で働く女性を見て、意外に思う人も多いのではないのでしょうか？



男性職場？女性職場？もう古いですよ

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が平成27年8月に国会で成立し、平成28年4月1日から施行されました。この法律は、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するためのものであり、企業では、より一層の女性活躍の推進が求められます。
 社会が成長を続けていくためには、女性がいきいきと活躍できる職場づくりが不可欠になってきます。今回は、この法律が施行される前から社会で活躍している女性2人にスポットをあてて、お話を伺いました。



※男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、家庭や地域、職場などのあらゆる分野において、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。



TOPICS 日本の男女格差 世界では114位と過去最低に

世界経済フォーラムは、平成29年11月に各国の男女格差の度合いを示す「ジェンダーギャップ指数」を発表しました。経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成され、値が「1」に近づくほど平等であることを示しています。2017年の日本の順位は、**世界144か国中114位**となり、前年の111位より3つ順位を落とし過去最低となりました。特に政治分野は123位と、女性の政治参加について世界的に遅れをとっている状況がうかがえます。

ジェンダーギャップ指数 (2017)

順位	国名	値
1	アイスランド	0.878
2	ノルウェー	0.830
3	フィンランド	0.823
4	ルワンダ	0.822
5	スウェーデン	0.816
49	アメリカ	0.718
114	日本	0.657

女性の悩み(カウンセリング)相談

お子さんやご家族、ご夫婦に関すること、配偶者等からの暴力に関すること、自分の生き方や人間関係等、女性の様々な悩みや心配事について、お気軽にご相談ください。相談の費用は無料です。また、相談に関する秘密は固く守ります。

相談日程 第1・第3金曜日 13時～17時
 面接相談もしくは電話相談

相談会場 久喜市役所 (本庁舎)

相談時間 1人50分

対象 市内在住・在勤・在学の女性

相談員 女性カウンセラー (臨床心理士)

申込方法 相談は予約制です。電話または窓口で人権推進課 (下記連絡先) までお申し込みください。

※相談日程・会場について、詳しくは人権推進課までお問合せいただくか、広報くきをご覧下さい。

ひとひと 女と男いきいきネットワーク久喜 会員募集します

私たちは久喜市内で活動する団体及び個人が、ゆるやかにつながり、互いに交流し、情報交換しながら、男女共同参画の推進に取り組んでいます。久喜市との共催で「男と女のつどい」や「女性議会」を開催したり、毎年2月に行われる「With Youさいたまフェスティバル」での活動展示などを行っています。皆様のご加入をお待ちしています。

申し込み・問合せ 同団体会長 倉持まで

電話/FAX 0480 (22) 4545

そよかぜの編集員を募集します！

「そよかぜ」は、市民の編集員により企画・編集されています。男女共同参画や情報紙づくりに関心のある皆さん、一緒に情報紙をつくってみませんか。月1回程度、編集会議を行っています。

募集人数 6人

応募方法 人権推進課 (下記連絡先) までお問い合わせください。

久喜市は、お互いを認め合える社会を築くため、「人間尊重・平和都市」を宣言しました

編集後記

- ・ジェンダーフリー・エンパワーメント・・・女性の社会参加はどうあるべきか、ノルウェーやオランダを視察した20年前と2人の女性の活躍が交差する。志ある人たちの果実が強く大きく、何処までも広がりますように。
- ・40年以上前に就活をした私は、予想を超えた現実を知って驚き、同時に嬉しさを感じました。かつて、「男女」で色分けされていた職場には、その仕事を選んだ「人」が、誠実に意欲的に働いていらっしゃいました。
- ・自分の適性にあった職場で、はつらつと働けることはとてもステキなことですね。今回の取材を通し、老若男女問わず、一人の人として、今、私にできること・求められていることを見据え、トライしてみたいと改めて思いました。
- ・制服姿がとても素敵なお二人でした。仕事に誠実で、目標をしっかりと持ち、前向きな姿勢のお二人を拝見して、職場における男女の区別があると思い込んでいたことに、古すぎたなと感じました。

編集スタッフ 佐藤 怜子・杉原 範子・菱沼 千恵子・吉田 康子

男女共同参画情報紙「そよかぜ」のバックナンバーは、久喜市ホームページからご覧いただけます。

◆発行/久喜市総務部人権推進課

〒346-8501 久喜市下早見85-3

電話: 0480-22-1111 (内線2322) FAX: 0480-22-3319 メールアドレス: jinken@city.kuki.lg.jp

この情報紙は60,100部作成し、1部あたりの単価は3.3円です。



この情報紙は古紙70%の再生紙を使用しています。

社員の成長して行く姿を見ることで、 自分もやりがいを感じます。

JR東日本大宮支社久喜駅
助役 よしの さちこ
吉野 幸子さん

平成29年8月より久喜駅の助役。
主にお客さまの対応や、職場における人材育成や労務管理、駅の設備管理等の業務を行う。
基本的に、泊まり勤務で朝から翌日の朝まで24時間勤務。



★今の仕事に就いたきっかけ★

以前勤務していた旅行会社での経験を活かし、自分自身の視野を広げていくことができる仕事をしたいと思い、JR東日本へ入社しました。

管理者を目指したのは、入社当時から上司の方々にきめ細かく指導していただいたことから、自分も人を育てる仕事をしたいと思ったことがきっかけでした。

★今後の夢は★

管理者として1年生ですが、お客さまや社員に信頼される管理者になりたいと思っています。駅長になることを目標に、日々勉強していきたいです。

★これまでの経験で印象に残ったことは★

お困りのお客さまに、「女性の社員の方がいて良かった」と安心された表情で言われたことが嬉しかったです。今は、管理者として、社員が自信をもって生き生きと仕事に励み、成長して行く姿を見ることで自分もやりがいを感じています。

東日本大震災（2011年）の時は、出張先の宇都宮駅で土地勘がない中、帰宅困難者の皆さまを避難場所へ誘導しました。大変でしたが、社員として皆さまの安全を考えながらチームワークで乗り切ることができ自信につながりました。

★後輩のみなさんへ★

将来の目標のために、どのような勉強をしていけば良いのか真剣に考え、努力を惜しまないことが大切だと思います。

また、何事にも正面から向き合ってほしいと思います。JR東日本では、新たな部門にチャレンジ出来る環境が整っているの、志を持って取組んでもらいたいです。



JR東日本大宮支社久喜駅はこんな職場です

久喜駅には、現在17名の社員が勤務しており、うち5名の女性社員が活躍しています。

若手社員が多く、明るく元気な職場です。毎年、久喜市民まつりなどの地域イベントにも参加させていただいており、「お客さまや地域の皆様から信頼され、安全と安心を提供できる久喜駅」を目指し、日々業務に励んでおります。

データ 1日の乗車人員は、約36,000人

休みの日は、趣味のジャズダンスをしています。
安室奈美恵さんに憧れています！

男女関係なく「自分にできることをやる」姿勢に魅かれました。

久喜消防署 救急担当 かさい つやこ
主査 葛西 彩子さん

平成13年より久喜消防署で勤務。
出動指令を受け、救急車で傷病者の救急搬送と救急救命を主に行う。医療機関の要請により転院搬送も行う。
署内や公共施設で、市民を対象に救命講習を実施している。



★今の仕事に就いたきっかけ★

地元である北海道の高校を卒業後は「自立したい!」と思い、就職に役立つ資格取得のため、専門学校への進学を考えました。学校のパンフレットで救急救命士の資格を知り、仕事に憧れて道内の専門学校に入学しました。

在学中に救急車同乗実習を久喜消防署で行う機会がありました。女性、男性関係なく『自分にできることをやる』という先輩方の姿勢を見て、一緒に仕事をしてみたいと思いました。

★今後の夢は★

私がここに居ることで、後から来る人達に何かを感じてもらえる存在になりたいです。

「結婚しなくても、子どもが居なくても私のような生き方や働き方があっても良い」と思ってもらいたいです。



★これまでの経験で印象に残ったことは★

救急搬送された方が無事に回復され、数日後、消防署までご夫婦でお礼に来られた時は、大変感激しました。元気になった姿を見せに来てくださったことも嬉しかったです。

入隊当初は、心肺停止の傷病者を搬送した帰りに、気持ちがとても落ち込むことがありました。先輩から「気持ちを切り替えろ」と励ましの声をかけられ、今思うととてもありがたかったです。

★後輩のみなさんへ★

「とりあえず、やってみる」「とりあえず、やってみてください」が私からのエールです。頭で考えるだけではなく、後悔をしないためにも失敗を恐れず前に進んで、次に活かしてほしいです。

自分の体験や経験はインターネットでは得られないものです。仕事でも遊びでも進んで行動することが、自分のためになると思います。

久喜消防署はこんな職場です

久喜消防署には、現在7名の女性職員が勤務しており、それぞれ消防士、救急救命士、指令課員として活躍しています。

性別関係なく、自分の力で出来ないことはしっかり伝えて、お互いにフォローするなど上手に役割分担が出来ていますので、女性も男性も共に力を発揮して働くことが出来る職場です。

データ 平成28年中の管内の救急出動件数は20,380件
119番から出動までの平均時間は2分39秒



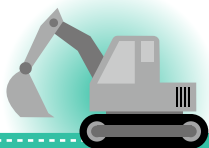
仕事と余暇を切り替え、心身をリフレッシュすることは得意です！

そよかぜ

SOYOKAZE

自分らしくいきいきと

「女性活躍」・・・最近よく見聞きする言葉です。
実際に、家庭・職場・社会などいたるところで、女性は重要な役割を果たしています。以前は男性の仕事と思われていた職場で働く女性を見て、意外に思う人も多いのではないのでしょうか？



男性職場？女性職場？もう古いですよ

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が平成27年8月に国会で成立し、平成28年4月1日から施行されました。この法律は、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するためのものであり、企業では、より一層の女性活躍の推進が求められます。

社会が成長を続けていくためには、女性がいきいきと活躍できる職場づくりが不可欠になってきます。今回は、この法律が施行される前から社会で活躍している女性2人にスポットをあてて、お話を伺いました。



※男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、家庭や地域、職場などのあらゆる分野において、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。



社員の成長して行く姿を見ることで、 自分もやりがいを感じます。

JR東日本大宮支社久喜駅
助役 よしの さちこ
吉野 幸子さん

平成29年8月より久喜駅の助役。
主にお客さまの対応や、職場における人材育成や労務管理、駅の設備管理等の業務を行う。
基本的に、泊まり勤務で朝から翌日の朝まで24時間勤務。



★今の仕事に就いたきっかけ★

以前勤務していた旅行会社での経験を活かし、自分自身の視野を広げていくことができる仕事をしたと思い、JR東日本へ入社しました。

管理者を目指したのは、入社当時から上司の方々にきめ細かく指導していただいたことから、自分も人を育てる仕事をしたいと思ったことがきっかけでした。

★今後の夢は★

管理者として1年生ですが、お客さまや社員に信頼される管理者になりたいと思っています。駅長になることを目標に、日々勉強していきたいです。

★これまでの経験で印象に残ったことは★

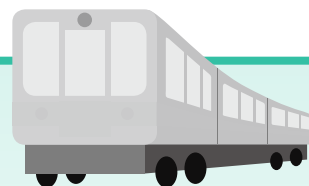
お困りのお客さまに、「女性の社員の方がいて良かった」と安心された表情で言われたことが嬉しかったです。今は、管理者として、社員が自信をもって生き生きと仕事に励み、成長して行く姿を見ることで自分もやりがいを感じています。

東日本大震災（2011年）の時は、出張先の宇都宮駅で土地勘がない中、帰宅困難者の皆さまを避難場所へ誘導しました。大変でしたが、社員として皆さまの安全を考えながらチームワークで乗り切ることができ自信につながりました。

★後輩のみなさんへ★

将来の目標のために、どのような勉強をしていけば良いのか真剣に考え、努力を惜しまないことが大切だと思います。

また、何事にも正面から向き合ってほしいと思います。JR東日本では、新たな部門にチャレンジ出来る環境が整っているので、志を持って取組んでもらいたいです。



JR東日本大宮支社久喜駅はこんな職場です

久喜駅には、現在17名の社員が勤務しており、うち5名の女性社員が活躍しています。

若手社員が多く、明るく元気な職場です。毎年、久喜市民まつりなどの地域イベントにも参加させていただいており、「お客さまや地域の皆様から信頼され、安全と安心を提供できる久喜駅」を目指し、日々業務に励んでおります。

データ 1日の乗車人員は、約36,000人



休みの日は、趣味のジャズダンスをしています。
安室奈美恵さんに憧れています！

男女関係なく「自分にできることをやる」姿勢に魅かれました。

久喜消防署 救急担当
主査 かさい つやこ
葛西 彩子さん



平成13年より久喜消防署で勤務。
出勤指令を受け、救急車で傷病者の救急搬送と救急救命を主に
行う。医療機関の要請により転院搬送も行う。
署内や公共施設で、市民を対象に救命講習を実施している。

★今の仕事に就いたきっかけ★

地元である北海道の高校を卒業後は「自立したい!」と思い、就職に役立つ資格取得のため、専門学校への進学を考えました。学校のパンフレットで救急救命士の資格を知り、仕事に憧れて道内の専門学校に入学しました。

在学中に救急車同乗実習を久喜消防署で行う機会がありました。女性、男性関係なく『自分にできることをやる』という先輩方の姿勢を見て、一緒に仕事をしてみたいと思いました。

★これまでの経験で印象に残ったことは★

救急搬送された方が無事に回復され、数日後、消防署までご夫婦でお礼に来られた時は、大変感激しました。元気になった姿を見せに来てくださったことも嬉しかったです。

入隊当初は、心肺停止の傷病者を搬送した帰りに、気持ちがとても落ち込むことがありました。先輩から「気持ちを切り替える」と励ましの声をかけられ、今思うととてもありがたかったです。

★今後の夢は★

私がここに居ることで、後から来る人達に何かを感じてもらえる存在になりたいです。

「結婚しなくても、子どもが居なくても私のような生き方や働き方があっても良い」と思ってもらいたいです。



★後輩のみなさんへ★

「とりあえず、やってみる」「とりあえず、やってみてください」が私からのエールです。頭で考えるだけではなく、後悔をしないためにも失敗を恐れず前に進んで、次に活かしてほしいです。

自分の体験や経験はインターネットでは得られないものです。仕事でも遊びでも進んで行動することが、自分のためになると思います。

久喜消防署はこんな職場です

久喜消防署には、現在7名の女性職員が勤務しており、それぞれ消防士、救急救命士、指令課員として活躍しています。

性別関係なく、自分の力で出来ないことはしっかり伝えて、お互いにフォローするなど上手に役割分担が出来ていますので、女性も男性も共に力を発揮して働くことが出来る職場です。

データ 平成28年中の管内の救急出動件数は20,380件
119番から出動までの平均時間は2分39秒



仕事と余暇を切り替え、心身をリフレッシュすることは得意です!

TOPICS

日本の男女格差 世界では114位と過去最低に

世界経済フォーラムは、平成29年11月に各国の男女格差の度合いを示す「ジェンダーギャップ指数」を発表しました。

経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成され、値が「1」に近づくほど平等であることを示しています。

2017年の日本の順位は、**世界144か国中114位**となり、前年の111位より3つ順位を落とし過去最低となりました。

特に政治分野は123位と、女性の政治参加について世界的に遅れをとっている状況がうかがえます。

ジェンダーギャップ指数 (2017)

順位	国名	値
1	アイスランド	0.878
2	ノルウェー	0.830
3	フィンランド	0.823
4	ルワンダ	0.822
5	スウェーデン	0.816
49	アメリカ	0.718
114	日本	0.657

女性の悩み(カウンセリング)相談

お子さんやご家族、ご夫婦に関すること、配偶者等からの暴力に関すること、自分の生き方や人間関係等、女性の様々な悩みや心配事について、お気軽にご相談ください。相談の費用は無料です。また、相談に関する秘密は固く守ります。

相談日程 第1・第3金曜日 13時～17時
面接相談もしくは電話相談

相談会場 久喜市役所 (本庁舎)

相談時間 1人50分

対象 市内在住・在勤・在学の女性

相談員 女性カウンセラー (臨床心理士)

申込方法 相談は予約制です。電話または窓口で人権推進課 (下記連絡先) までお申し込みください。

※相談日程・会場について、詳しくは人権推進課までお問合せいただくか、広報くきをご覧ください。

ひとひと 女と男いきいきネットワーク久喜 会員募集します

私たちは久喜市内で活動する団体及び個人が、ゆるやかにつながり、互いに交流し、情報交換しながら、男女共同参画の推進に取り組んでいます。久喜市との共催で「男と女のつどい」や「女性議会」を開催したり、毎年2月に行われる「With Youさいたまフェスティバル」での活動展示などを行っています。皆さんのご加入をお待ちしています。

申し込み・問合せ 同団体会長 倉持まで
電話/FAX 0480(22)4545

そよかぜの編集員を募集します！

「そよかぜ」は、市民の編集員により企画・編集されています。男女共同参画や情報紙づくりに関心のある皆さん、一緒に情報紙をつくってみませんか。月1回程度、編集会議を行っています。

募集人数 6人

応募方法 人権推進課 (下記連絡先) までお問い合わせください。

久喜市は、お互いを認め合える社会を築くため、「人間尊重・平和都市」を宣言しました

編集後記

- ・ジェンダーフリー・エンパワーメント・・・女性の社会参加はどうあるべきか、ノルウェーやオランダを視察した20年前と2人の女性の活躍が交差する。志ある人たちの果実が強く大きく、何処までも拡がりますように。
- ・40年以上前に就活をした私は、予想を超えた現実を知って驚き、同時に嬉しさを感じました。かつて、「男女」で色分けされていた職場には、その仕事を選んだ「人」が、誠実に意欲的に働いていらっしゃいました。
- ・自分の適性にあった職場で、はつらつと働けることはとてもステキなことですね。今回の取材を通し、老若男女問わず、一人の人として、今、私にできること・求められていることを見据え、トライしてみたいと改めて思いました。
- ・制服姿がとても素敵なお二人でした。仕事に誠実で、目標をしっかりと持ち、前向きな姿勢のお二人を拝見して、職場における男女の区別があると思いついていたことに、古すぎたなと感じました。

編集スタッフ 佐藤 怜子・杉原 範子・菱沼 千恵子・吉田 康子

男女共同参画情報紙「そよかぜ」のバックナンバーは、久喜市ホームページからご覧いただけます。

◆発行/久喜市総務部人権推進課

〒346-8501 久喜市下早見85-3

電話：0480-22-1111 (内線2322) FAX：0480-22-3319 メールアドレス：jinken@city.kuki.lg.jp

この情報紙は60,100部作成し、1部あたりの単価は3.3円です。

R270
この情報紙は古紙70%の再生紙を使用しています。